

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

| | | | | | | |
|--------|--------------------|-------------------------------|---|--|---|-----------------------------|
| P T A名 | 静岡県立富士特別支援学校 P T A | | | | | |
| 学 校 | 対 象 | <input type="checkbox"/> 視覚障害 | <input type="checkbox"/> 聴覚障害 | <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 | <input type="checkbox"/> 肢体不自由 | <input type="checkbox"/> 病弱 |
| | 設 置 部 | <input type="checkbox"/> 幼稚部 | <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 | <input checked="" type="checkbox"/> 高等部 | |
| | 全校児童・生徒数 | 371名 | | | | |

1. 使用状況

| | |
|---------------|---|
| 寄贈物品名 | 電子黒板（ディスプレイ型） |
| 使用学年及び人数 | 全校児童生徒 368名 小学部1年から高等部3年まで(訪問教育を除く) |
| 使用頻度 | 週5日 |
| 使用状況 | <p>・ディスプレイ型の1台はパソコン室で管理している。国語、数学、生活単元学習、総合的な探究の時間、家庭科など教科に限らず、ほぼ毎日使用している。</p> |
| 物品の使用による変化や効果 | <p>・高等部では、Chromebookを活用した授業を行っており、ホワイトボードモードで画面に直接書き込んだり、PCモードにすることで画面で操作したりすることができる。そのため、以前であれば事前に用意したものを映し出すことができなかつたが、生徒から出てきた意見や感想等を直接書き込むことができ効果があった。</p> <p>・小学部・中学部では、ディスプレイ型を使用することが多い。本校が所有しているテレビよりも画面が大きいいため、児童たちは動画やPowerPointをより大きく見ることができている。</p> |
| 今後の活用の見通しや課題 | <p>・生徒が自分の考えを直接書き込むことができ、意欲的に活動できた。また、生徒が書き込んだものをスクリーンショットして、残しておくことや2画面にすることで、PowerPointと他の画面を同時に視聴することができて、説明する時にはとても便利である。</p> <p>・本校では、児童生徒数が多く、電子黒板の使用頻度が多い。プロジェクター型のように配線がないので、準備や片付けの時間が短縮ができた。どの学年にもすぐに活用できると考えている。</p> |
| その他希望や所感など | 児童生徒の良いあらわれが見られ、教育活動が大変充実した。効果的にICTを活用した授業を行い、児童生徒の学びの充実をさせていきたい。 |

2. 活用の様子

職業の授業にて

今日の授業の流れの確認や、生徒に視覚的に大きく提示したいときに使っている。

画面が大きいので、一斉授業を行うときに、生徒が注目しやすい。

また、画面に直接記入することができるので、特に注目してほしい所や、どのように取り組んだらよいかを、視覚的に伝えることができ、大変便利である。

他にも、直接インターネットに繋がるので、持ち物が簡素化され、準備等にかかる時間を短縮することができ、高等部では、ほぼ毎日利用している。

